

令和5年度坂戸市立浅羽野中学校シラバス	技術・家庭科	第 1 学年
学習達成目標		
◇生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	【知識・技能】	
◇生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	【思考・判断・表現】	
◇よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】	

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>【生活や社会における技術の役割】 ○社会や生活に生かされている技術に関心をもち、その役割を知る。</p> <p>【生活や社会と材料と加工の技術】 ○身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。</p>	10	<p>【食事の役割と食習慣】 ○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。</p> <p>○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。</p> <p>【中学生に必要な栄養を満たす食事】 ○食品は栄養的質により食品群に分類されることを理解する。</p>
5	<p>【材料を利用するための技術】 ○製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。</p> <p>○等角図法および第三角法による正投影図法を身につける。</p>	11	<p>【さまざまな食品とその選択】 ○生鮮食品の特徴がわかる。</p> <p>○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。</p> <p>○加工食品の特徴がわかる。</p> <p>○目的に応じて加工食品を選択できる。</p>
6	<p>【問題解決の手順】 ○生活の中から、身の回りの問題を見いだして、製作物を構想する。</p> <p>【製作のための技能（木材）】 ○製作品の組立てを行う。</p>	12	<p>○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関する知識をもって選択できる。</p> <p>【日常食の調理】 ○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。</p>
7	<p>【これからの材料と加工の技術】 ○よりよい生活を実現する材料と加工の技術の在り方について話し合い、自分の考えを発表する。</p> <p>【生活や社会と生物育成の技術】 ○生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割について考える。</p>	1	<p>○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。</p> <p>○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。</p> <p>○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。</p> <p>○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。</p> <p>【地域の食文化】 ○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。</p>
9	<p>【さまざまな生物育成の技術】 ○作物、動物、水産生物及び森林に関わる栽・飼育・育成技術について知る。</p> <p>【生物育成の技術による問題解決】 ○設定した課題に基づき、育成環境の調節方法を構想して、育成計画を具体化する。</p>	2	<p>○安全・適切に栽培・検査し、必要に応じて適切に対応する。</p> <p>【これからの生物育成の技術】 ○生物育成の技術を評価し、技術の適切な活用について考える。</p> <p>【献立づくり】 ○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</p>
10		3	

評価資料 【知識・技能】 ノートやレポート等における記述、行動観察、ペーパーテスト、プリント、実習中の活動 【思考・判断・表現】 ノートやレポート等における記述ペーパーテスト、論述やレポートの作成、グループでの話し合い、作品の制作、発表、質疑応答 【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやレポート等における記述、授業中の発言、行動観察や、生徒による自己評価や相互評価

学習達成目標

◇生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【知識・技能】

◇生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

【思考・判断・表現】

◇よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

月	学習のねらい・内容
	<家庭分野>
4	<p>【目的に応じた衣服の選択】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○自分らしい着方を工夫することができる。 ○和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 <p>【日常着の手入れと保管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ○取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 <p>【生活を豊かにするものの製作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。 <p>【持続可能な衣生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。
5	<p>【住まいのはたらきとここちよさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住まいの基本的な役割について理解する。 ○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。 <p>【安全な住まいで安心な暮らし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ○地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 <p>【家庭生活と消費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。 <p>【購入・支払いと生活情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。
6	
7	
8	
9	
10	

月	学習のねらい・内容
	<技術分野>
10	<p>【生活や社会とエネルギー変換の技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー変換の技術が生活や社会に果たしている役割について考える。 <p>【エネルギー資源の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー資源の種類や、エネルギーが利用されるまでの流れを知る。 <p>【電気の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な電源の電圧の大きさや波形等、電気の物性に関する観察・比較を行う。 <p>【運動の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動力を伝えるための仕組みが用いられている身近な製品を探し、その理由を考える。 <p>【エネルギー変換の技術による問題解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「基本的なライトの回路図」を知る。 ○製作した電気回路を評価し、改善点を考える。 <p>【これからエネルギー変換の技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会について考える。
11	<p>【生活や社会と情報の技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報の技術に関する製品やサービスに込められた工夫や仕組みを調べる。 <p>【情報とコンピュータ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータシステムの構成とソフトウェアの働きを知る。 <p>【情報の表現と伝達】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりするしくみを知る。
12	
1	
2	
3	

評価資料**【知識・技能】**

ノートやレポート等における記述、行動観察、ペーパーテスト、プリント、実習中の活動

【思考・判断・表現】

ノートやレポート等における記述ペーパーテスト、論述やレポートの作成、グループでの話し合い、作品の制作、発表、質疑応答

【主体的に学習に取り組む態度】

ノートやレポート等における記述、授業中の発言、行動観察や、生徒による自己評価や相互評価

学習達成目標

- ◇生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【知識・技能】
- ◇生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
【思考・判断・表現】
- ◇よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】

月	学習のねらい・内容
2組の技術は、 1学期～2学期前半まで。 1組・3組は、 2学期後半から3学期後半まで。	<p>《技術分野》</p> <p>【情報セキュリティと情報モラル】 ○情報モラルの必要性と情報を収集・発信するときに注意することを知る。 ○知的財産の望ましい活用を考える。</p> <p>【双方向性のあるコンテンツによる問題解決】 ○互いにコメントなどを送受信できる簡易なチャットのプログラムを制作する。 ○制作工程表をもとに、プログラムを作成する。</p> <p>【計測・制御による問題解決】 ○使用するロボットにおける基本のプログラムを制作する。 ○完成したロボットを発表し、設定した評価項目に沿って相互評価する。</p> <p>【これから情報の技術】 ○情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。</p>

月	学習のねらい・内容
1組・3組の家庭は、 1学期～2学期前半まで。 2組は、 2学期後半から3学期後半まで。	<p>《家庭分野》</p> <p>【自分の成長と家族・家庭生活】 ○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。</p> <p>【幼児の生活と家族】 ○幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性とともに、個人差があることを理解する。 ○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなとの役割について理解する。 ○幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。</p> <p>【幼児とのかかわり】 ○幼児とのふれ合い体験について自分の課題をもち、ふれ合うときの留意点を理解する。 ○幼児とのかかわり方について身につけた基礎的・基本的な知識を活用し工夫してふれ合う。</p> <p>【家庭生活と地域のかかわり】 ○地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ○地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。</p> <p>【消費者被害と消費者の自立】 ○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。</p>

評価資料**【知識・技能】**

ノートやレポート等における記述、行動観察、ペーパーテスト、プリント、実習中の活動

【思考・判断・表現】

ノートやレポート等における記述ペーパーテスト、論述やレポートの作成、グループでの話し合い、作品の制作、発表、質疑応答

【主体的に学習に取り組む態度】

ノートやレポート等における記述、授業中の発言、行動観察や、生徒による自己評価や相互評価